

menpei

代表者：井筒木綿子

所在地：備前市吉永町三股

小冊子を通じての地域づくり

◎ 目 的

「なにもない」と地元の方々が嘆く吉永。

私たちのようなヨソモノから見れば、豊かな自然、おいしい食べ物、きれいな星空、そして、温かく迎えてくれる地域のみなさま。「なにもない」どころか、本当にいろんなコトにあふれていると考える。一方で、吉永は県内外含め、他地域の方々にはほとんど知られていない存在である。よって、「吉永で暮らすこと」とはどういうことかを他地域の方々へ伝えつつ、そのフィードバックとして、①吉永の方に地元の素晴らしさを再発見し、②吉永での暮らしに誇りを持っていただき、③「暮らし」を楽しんでいただくことを目的とする。

◎ 経 過

2008年1月 小冊子構想完成

2月 制作開始

9月 完成



「吉永で暮らすこと。」表紙

吉永の魅力小冊子に

備前市吉永町地区の企業に勤める井筒耕平さん(33)が吉永の魅力を発信する小冊子「吉永で暮らすこと。」を発行した。町並みや店を写真や文章で紹介。「地元のスバラしさを再認識してほしい」と話している。(藤田勝久)

**備前で就職
井筒さん**

お薦め店や暮らし紹介

1000部作製、配布

井筒さんは現在、結婚準備のため、一時的に相州市で暮らしているが、結婚後は夫婦で吉永に戻ると予定。将来は同世代の人たちとまちづくりについて語り合えるコミュニティを作りたいと夢を語る。

福武教育文化振興財団の助成を受け、千部作製。備前グリーンエネルギーをはじめ、知人らが経営する岡山・高松・神戸市の喫茶店などで無料で配布している。

問い合わせは井筒さんのメール (menpei01@gmail.com)。

備前市吉永町地区の魅力を紹介する小冊子を手にする井筒さん

婚約者の服部木綿子さん(30)は神戸市川と編集を思い立った。冊子では、願い事を託した年の置物を奉納する田倉牛神社(同市吉永町福間)をはじめ、テントウムシをモチーフにした雑貨が並ぶおしりも顔写真付きで取り上げた。温かみあふれる挿絵は服部さんが描いた。井筒さんは現在、結婚準備のため、一時的に相州市で暮らしているが、結婚後は夫婦で吉永に戻ると予定。将来は同世代の人たちとまちづくりについて語り合えるコミュニティを作りたいと夢を語る。

福武教育文化振興財団の助成を受け、千部作製。備前グリーンエネルギーをはじめ、知人らが経営する岡山・高松・神戸市の喫茶店などで無料で配布している。

問い合わせは井筒さんのメール (menpei01@gmail.com)。

備前市吉永町地区の魅力を紹介する小冊子を手にする井筒さん

山陽新聞 (平成20年10月15日)

◎ 成 果

◆制作段階

制作段階においては、掲載予定のペレットストーブ利用者、およびお店の方々とのコミュニケーションを図ることができた。一方、吉永についての魅力をアウトプットする中で、改めて吉永の魅力を自ら反芻することができた。

◆新聞：山陽新聞東備版（08.10.15）に掲載いただいた。

◆地元からの反響

市職員、吉永小学校教諭、吉永住民の方々から「ぜひほしい」という問い合わせのメールをいただいた。また、ガソリンスタンド経営の方からは、「本当は地元の人間がこういうものを制作しなければならないのに、外から来た若者がやってくれるとは。ますます頑張らないといけない。」という感謝の言葉をいただいた。

◆地域外からの反響

地域外として、岡山市（飲食店）、神戸（古着屋、飲食店等）、高松（香川県、飲食店、古本屋）などに置かせていただいた。その結果、神戸の若い女性から「感銘を受けて、自分でも作りたいと思って動き始めた」という嬉しい言葉をいただいた。その他、多数のメール等ご連絡をいただいた。

◆全体総括

人の心、地域の文化、風土はそう簡単には動くものではない。

しかしながら、小冊子を通して一石を投じ、少しでも人の心に届いたならば、大きな成果だったと考える。また、地域外の方から「こないだ吉永通ったわよ」など伝えていただいたことから、地域外の方に吉永を認識していただくような成果があったと考える。

◎ 今後の課題と問題点

1. 制作段階での地域との関わり方

本作品は、初出版であったため、メンバー2名のみで制作した。ただし、地域との関わりの中で制作することも重要と認識しており、次回以降の作品においては考慮していきたいと考える。

2. デザイン、写真スキルは次回以降の課題である。

3. 配布方法

本作品は無料配布で知り合いの方のお店に置いていただくことが多かった。

次回以降は、価格を含めて配布方法についての再検討が必要との認識である。

●執筆者：井筒耕平

● 会のプロフィール

【設 立】2008年1月1日

【会員数】2名

【活動歴】今回の小冊子制作が、初の出版物である